

平成 23 年 5 月 16 日

## 日本鉄鋼連盟「電力対策自主行動計画」

一般社団法人日本鉄鋼連盟

鉄鋼業は、これまで電炉業を中心に夜間傾斜操業による電力負荷平準化（昼間帯のピークカット）に大きく寄与してきたのみならず、高炉各社では鉄鋼プロセスで発生する副生ガス等を活用した共同火力発電所や自家発電設備により電力会社の系統に電気を供給（卸供給）するなど、電力の需要、供給両面で大きく貢献してきた。

しかしながら、東日本大震災により、東京電力管内及び東北電力管内における夏期の電力需給の逼迫が極めて憂慮される状況にあることから、今夏に想定される電力需給ギャップに対して、「日本鉄鋼連盟電力対策自主行動計画」を策定し、従来にもまして需要・供給の両面から対策を講ずることとした。

夏期に向けて、震災地復興のための鋼材供給や、需要家に対する素材供給に影響を与えないよう最大限の配慮を行いつつ、以下の具体的な取組みを推進することとする。

### 1. 電力需要面の対策

#### (1) 事業所（工場）等における取組み

事業所（工場）等については、政府の電力需給緊急対策本部決定に基づく削減目標を踏まえ、各事業所の実態に即して以下の取組みを推進する。

- ・ 夏期電力需要期への生産設備の計画停止・休止工事の配置
- ・ 夜間時間帯への生産シフト拡大
- ・ 夏期電力需要期前後への生産の期間的シフト
- ・ 域外への生産移管
- ・ 所内節電パトロール、消灯パトロール等による節電徹底 他

#### (2) オフィス・家庭における取組み

##### ① オフィス等における省電力の徹底

以下の取組を推進し、オフィスや研究所等における電力使用の一層の抑制に努める。

- ・ 空調温度の引き上げ
- ・ 照明の削減
- ・ OA 機器の使用削減

- ・エレベーター稼働台数の削減
- ・クールビズの徹底 他

## ②従業員、家庭への節電の働きかけ

政府及び日本経団連で示された「空調温度の引き上げ」、「照明の消灯」、「待機電力の削減」等の家庭での節電メニューについて、社内報等も活用して従業員に広く啓蒙するとともに、「環境自主行動計画」の一環として、現在約2万世帯が実施している環境家計簿について更なる参加を呼びかけ、節電意識の徹底を図る。

## 2. 供給面の対策－電力会社への電力供給の増加に資する取組み

需給が逼迫する夏期に、自家発、共同火力、IPPを最大限活用できる体制とするため、足元から以下の取組みを推進する。

- ・震災により停止している発電設備の早期復旧
- ・設備容量に余力がある発電設備の増出力運転
- ・自家発、共同火力、IPPの最大出力を維持するための副生ガス等燃料の安定的・優先的供給
- ・夏期の最大稼働を保証するための定期点検タイミングの最適化及び期間短縮

以上